

## 行事を振り返って

9月後半から大きな学校行事が続いていました。子どもたちに、chromebook (forms) や作文を通じて感想を募集しました。子どもたちの感想の一部を紹介します。

### 『命の一本桜プロジェクト』を体験して (児童の感想より)

- 『命の一本桜』で知ったことは、阪神淡路大震災で亡くなった人は、子どもたちにおおいかぶさって子どもたちを守りきって亡くなった人が多かったということです。大変おどろきました。改めて、お父さん、お母さんに感謝したいと思いました。
- ぼくは、阪神淡路大震災や東日本大震災で、亡くなった人達のことを考えると、命がこんなに大事なんだなと思いました。次に、絵を描きました。大切な命を思い浮かべて描きました。
- 地震はすごく怖いと思いました。どうしてかということ、地震はいつ起きてもおかしくないからです。『命の一本桜』は、みんなで完成させたから迫力ある絵が完成しました。
- 私は、阪神淡路大震災が本当にすごい地震だったんだなと思いました。『命の一本桜』の絵は、思ったより大きかったです。お家に帰ったら、今日の出来事を家族にお伝えたいです。これからも、命を大切にしようと思いました。
- 学んだことは、命は、1つしかないの、亡くなった人の分まで生きていこうと思いました。
- 命の大切さを知りました。
- 命の大切さや絵の楽しさを学びました。
- 阪神淡路大震災は、こわいなと思いました。
- 命はとても大切だなと感じました。
- 命の大切さや生きていることの幸せがわかりました。
- 昔には震災がいっぱいあったのだなと学びました。
- みんなで、大きな絵を描いて楽しかったです。
- 大変なこともあったけど、最後にいい絵がかけてうれしかったです。
- とても楽しかったです。
- 初めてあんなにクレパスを使ったからとても楽しかったです。
- 大変だったけれど、楽しかったです。
- 大勢で1つの事をやるのはなかなか無いと思うので貴重な体験だったと思います。
- お母さんといっしょにいたいと思いました。
- ぼくは、手に絵の具をぬったときに、少し気持ちよかったです。桜もきれいになったからうれしかったです。
- はじめて『命の一本桜プロジェクト』をして、とても楽しかったです。
- 地震は、いろいろな人が亡くなっていることを知りました。命は1つしかないことを学びました。
- この学習をして、命の大切さがすごくわかりました。阪神淡路大震災では、子どもたちを守って亡くなられた方がいて、その人の分まで生きようと思いました。
- 私は、絵で心を表すことができるのだなと思いました。命って本当に大事だと思いました。
- 命が亡くなった人のために桜を作るのだなと思いました。
- 災害の怖さを改めて知りました。作品を通して私たちの心が、亡くなってしまった人に届いてほしいと思いました。そして、神戸やここ加古川市の人達にも届いてほしいと思いました。『助け合い』『協力』と言う言葉がいいなと思いました。地域の人とかと支え合って生きていきたいです。
- 先生の話を聞いて、阪神淡路大震災は大変な地震だったのだなと思いました。
- 『命の一本桜』で、色を塗るの楽しかったけれど、地震は怖いと思いました。
- 大きい紙に桜の木を描いて大変だったけど、がんばって描けました。
- 桜の手形は、亡くなった人の命だということがわかりました。
- 『命の一本桜プロジェクト』で、人の命の大切さを知りました。
- はじめてやったので楽しかったです。
- 話を聞いて、命の大切さを知りました。
- 僕は、阪神淡路大震災を知れて、よかったです。
- 命を大切にしたいです。
- 話を聞いて、命の大切さを改めて感じました。
- 命は大切だと知りました。
- 地震はとても怖いと思いました。



(裏面に続く)



- 『命の一本桜プロジェクト』で、命は大切なものだと思います。
- やっぱり地震は怖いと思いました。そして、亡くなった人のことを思い悲しんだりしたと思います。「はるかのひまわり」みたいに立ち直るのにも時間がかかるし、もしかしたら立ち直るのも無理な人もいるかもしれないと思いました。阪神淡路大震災は人の命と大切な建物、楽しい気持ちなど色々なものを奪っていったのだと思いました。
- 桜を作る時、改めて「命は大切やねんなー」と思いました。神戸の人は、お母さんやお父さん、お爺ちゃん等をうしなって辛かったのだなーと今も思います
- 『命の一本桜プロジェクト』を通して、『命の大切さ』や『生きていることはどういうことなのか』について分かりました。更に最後思ったことは、いっぱいいろんな絵を見て、命は本当に大事だと思います。
- 私は、命はとても大切で、命は一つしかないということ、そして、命を落としてしまったら自分のやりたい道行きたい道がなくなりそこで終わってしまうということを深く思いました。実際には、阪神淡路大震災は経験していないけれど、聞いたり見たりする中で、悲しく思ったり、ゾッとしたりしました。命は大切で1人に1つしかない命は大切で、何よりも命が大事大切と思いました。
- 僕は、『命の一本桜プロジェクト』の授業を受けて、命の大切さについて、よりこの活動で分かったし、何よりも、阪神淡路大震災で亡くなった人に、僕たちの気持ちが届いてほしいと思いました。特別な授業をくださった中嶋先生や協力してくださった人、力を貸してくださった人たちにとっても感謝しています。自然災害の対策をどんどん厳重にしても、自然災害が起こった時に自分はどうするべきかが重要だと分かりました。阪神淡路大震災の時、加古川の地域はどのようになっていたかという事などを、家族に聞いてみたいと思いました。『命の一本桜』を作る時、友だちと協力しながら頑張って作りました。協力して作ったものが、他の人の心にも届いてほしいと思いました。
- 『命の一本桜プロジェクト』を通して私は、命の大切さを知りました。これからも、みんなと協力して、最高に楽しんで、生きていこうと思いました！
- いっぱい、ズボンが汚れたけれど、完成すると達成感があって、とても楽しかったです！
- 楽しかったです。阪神淡路大震災の話聞いて、こんなことがあったのだとびっくりしました。
- みんなと、心をつなげて描けたことがいいなと思います！桜がすごくきれいにかけているので、みんなすごいなと思います！！
- 楽しかったです。
- 改めて、大震災はとても怖いなと思いました。
- 震災は、改めて危険なのだと思いました。中嶋先生の話聞いて泣きそうになりました。
- 全校生が協力することの楽しさを感じました。みんなと同じ趣旨で行うことをまたしたいです。
- 命の尊さ・大切さをとても深く学びました。今私たちが生きているのも、とても嬉しいことということを知りました。桜の枝や影を描いているとき、この平荘小学校みんなで作った桜はたくさん思い出に残り、いい機会になって嬉しいなと思いました。手にピンクの絵の具を塗り、いっぱいペタって押しつけて、とてもいい作品になったなと思いました！とても楽しかったしとてもたくさん学びました！
- 震災で、すごく大変な目にあった人がたくさんいてすごく悲しくなりましたし、震災は怖いなと思いました。
- 家族はとても大事なのだと思いました。
- 命は尊い!!!!
- 震災はこわいと思いました。
- 命の大切さを知りました。
- 命の大切さを学びました。
- 阪神淡路大震災の話聞き、とても怖いと思いました。阪神淡路大震災の絵（お母さんをおいていく絵やお父さんが家族みんなを守っている絵）を見て、阪神淡路大震災はこんなに人の気持ちを動かすものだったのだなと思いました。
- 僕は、震災について学びました。とても辛そうでした。
- 楽しかったです。
- 命の大切さについて、みんなで協力し合って学びました。
- 😊楽しかったです。



★全校生が心をつなげて、『命の一本桜』の制作をしました。縦割り班で制作を行いました。一人一人が役割をもって取り組みました。1・2年生は大地の草を、3・4年生はどんな地震にも負けない根っこを、5・6年生は天に向かって力強く伸びていく幹や枝をクレパスで描きました。最後は、全校生で命ある桜の花びらを咲かせました。(NO.3.2③に続く)